問１ 要点検討

修士の2年で、博士課程に進学するか就職するかで、それぞれに心配や不安があり、迷っている。

**問１ を回答にまとめ（回答の罫線3行にまとめる　120文字程度）**

今修士の2年で、情報ネットワークの研究をしていて、研究が好きなので進学したい気持ちもあるが、その先の就職に不安を感じ、現在、就職活動でＩＴ企業を受けているが、残業の多さなどで不安がある。その結果、進学するか就職するかで迷っている。　　（114文字）

問2の初めの列挙（逐語録から気づくところを列挙）

相談者の問題（相談内容）の原因になっていると考えられる問題に注目する。

１）     進学を「お先真っ暗」と表現するネガティブな見方を持つ

２）    ＩＴ企業の就活で、よくても難関なところは「受けようという気にもなりません」ネガティブ

３）    情報ネットワークの研究をし「システム開発、ＳＥ、ソリューション営業」を考えているにも関わらず、自分がどういう業界にむいているのか良く分かりません。は仕事に関しては自己認識さらに自己理解不足がある

４）    「仕事の遣り甲斐、好きな仕事、安定志向」を求めている、父の仕事がそれの見本にも関わらず仕事中心だという見方で、父の仕事を否定（仕事だけの人間にはなりたくない）する矛盾がある。

５）    仕事への要求や希望は多く理想を求めすぎる傾向があり、もっと優先度を付けて何が自分にとり大事を考える、現実的な仕事観がない。

６）    人の話によりものごとを考える傾向が強く、自分の主体的な考えや行動が不足している

**問２を回答にまとめる（回答3行、130文字程度）**

次の3つを考えた。　１）進学を「お先真っ暗」、就職を「受ける気にもならない」等ものごとをネガティブ傾向が強い。　２）専門分野や希望の仕事があるが、どういう業界に向いているか分からないと言う自己理解不足。３）理想を多く求め現実（全てを満たすことは難しい）の仕事への理解不足。　　133文字

**問3　①　目標　(回答3行)**

上記のネガティブ思考、自己理解不足、仕事理解不足が相互に絡んで（原因）でＣＬの問題（問１）を起こしていると考えて、まずこの３つを解消または軽減することを初めの目標におく。その結果ＣＬの迷いをＣＬ自身が払拭できるように援助する（最終目標）　　　　118文字

**問3　②　あなたの具体的方策　(回答6行)**

次の項目を順に相談者が理解できるように出来るだけ具体的に話し支援していく。　１）   ネガティブ思考に関しては、悪い面だけでなく良い面も実例を挙げて説明しポジティブな面に注目し行動に結びつける大切さに気付かせる。　 ２）  自己理解不足に関しては、本来の好きなことや希望の仕事があるにも関わらず、付随的な仕事の忙しさ、就職の難しさ、父親の影響等で本質を見失っていることに気づかさせる。　３）  仕事理解不足は、特に仕事は全て満たすものではなく、自分にとっての優先度を付けて見ることの大切さを理解させる。　以上の後、ＣＬが迷いを自らの適切な判断で払拭できるように継続的に援助する。

（277文字）